

令和2年度第1回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会議事録

1. 会議の名称

令和2年度第1回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会

2. 開催日時

令和2年8月6日（木）13:30～15:20

3. 開催場所

我孫子市手賀沼親水広場 水の館3階研修室

4. 出席者

【選考委員】

上村文明委員長、新保美恵子副委員長、嶺岸勝志委員、檜崎容子委員、工藤文委員、
須田隆弘委員

【指定管理者 株式会社あびベジ】

大炊三枝子代表取締役、鈴木康仁取締役

【事務局（農政課）】

松本清課長、秋田芳博課長補佐、斎藤寿義主査長、小澤俊輔主任

5. 議題

- ①委員長、副委員長の選任について
- ②令和元年度の事業報告・評価について
- ③評価方法の変更について

6. 公開・非公開の別

公開

7. 傍聴人及び発言者の数

1名

8. 会議概要

委員の任期が切り替わってから初の開催となり、委員長、副委員長の選任を行った。また、令和元年度の指定管理業務に対する選考委員会によるモニタリングとして、株式会社あびべジからの事業報告と選考委員からのヒアリングを行った。さらに、今回で第1期のモニタリングを終えたため、次回からの評価方法について、これまでの4段階評価を5段階評価に変更する事務局案を委員会に諮った。

事務局) 議事の1点目は「委員長及び副委員長の選出について」です。委員長が決定するまでは事務局で進行させていただきます。我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会設置要綱第5条に基づき、委員長を市職員は除く委員の互選により1名、副委員長を委員の互選により1名選出することとなっております。まず委員長について、立候補される方はいますか。

…立候補者がいないようですので、どなたか、推薦される方はいらっしゃいますか。

A 委員) 引き続き B 委員にお願いしたいと思います。

事務局) B 委員いかがでしょうか。

B 委員) 承知しました。

事務局) ありがとうございます。ここからの議事の進行は委員長にお願いいたします。

B 委員) それでは続いて副委員長を選出いたします。立候補される方はいますか。

…立候補者がいないようですので、推薦される方はいらっしゃいますか。

C 委員) 引き続き、D 委員にお願いできたらと思います。

D 委員) 承知しました。

B 委員) D 委員よろしくお願ひいたします。

続きまして、議事の2点目「令和元年度の事業報告・評価」を行います。事務局は指定管理者をお呼びください。

(指定管理者あびべジ入室)

B 委員) 事業報告をお願いします。

(指定管理者あびべジ説明)

B 委員) それでは委員からご質問をお願いします。

C 委員) 3年目の実績として収支が黒字化したことは本当に良かったと思います。黒字に転換できた1番の要因は何と分析されていますか。

あびべジ) 1番は給与の削減です。前年度の約4,400万円から約3,800万円になり、約600万円削減できました。削減できた理由は、仕入品のロスの削減に努めたことで

利益率が高まったとともにバックヤードのスタッフの業務を減らせたことが要因です。次に支出の大きな部分を占める水道光熱費についても、温度設定などを注意して行ったことで大きく削減することができました。

A 委員) 黒字に転換できたことは評価したいと思います。ただし、この前トウモロコシを買ってみたら、未熟で美味しくなかったことがありました。こういうものが売られてしまっていることは直売所だから仕方ないでは済ませてはいけなくて、市民サービスとしてはまだまだ改善しなければならない点があるのだらうと思います。こうした商品は撤去するなど管理していかないと利用者が不信感を抱いてしまいます。商品管理が今後の高い評価に繋がっていくと思いますので、改善に努めていただきたいと思います。

あびベジ) 可能性としては、2番果のトウモロコシを出荷された場合があります。通常は1本の茎から1本しかとらないんですが、2番目のものは未熟で甘みも薄いものになってしまいます。配架台を見てそうしたものがあれば撤去しているのですが、見た目だけでは判断しきれないところもあり見落とししたものがあったのかもしれない。そうしたものを販売してしまうと、その出荷者さんの商品が売れなくなっていくわけですので、出荷者さん自身にも注意してもらおうよう促していきたいと思います。

B 委員) 確認ですが商品は農家さんが並べるのですか。それとも農家さんからあびベジさんが受け取って並べているのですか。

あびベジ) 基本的には農家さんが朝来て並べていきます。農家さん毎に商品の品質や意識の差がありますので、それを考慮しながら出荷された農産物を確認したりはしています。

B 委員) わかりました。やはりそのへんはチェックが必要なのかなと思います。

D 委員) トウモロコシの話が出ましたが、トウモロコシはとても人気商品で午後になるといつも無くなってしまいます。私はそうしたものに当たったことが無いのですが、数が多いとそういうものもあるのかなと思いながら聞いておりました。私からは給食事業についてお聞きしたいと思います。平成31年度と30年度の実績を比べると、売上が約50万円減っているのですが、原価は約80万円減っていて、その結果収支が改善されたと思いますが、原価が売上に比べて大きく減るのはどういった理由なのでしょう。

あびベジ) 3月は、コロナの影響で学校が休校したため農産物の売上はありませんが、この収入には学校給食コーディネーターの人件費が市からの委託費17万5千円が計上されています。

D 委員) 前年度から原価が約80万円減少できた理由、売上純利益で約30万円改善できたのは、何か改善にむけた取り組みはあったのかということなのでしょう。

あびベジ) 学校給食コーディネーターの委託費が収入に含まれる一方で、人件費は販売管理費に含まれるため、原価には計上されないためだと思うのですが、確認させ

てください。

E 委員) 飲食部門に関して伺います。全体として黒字を達成したなかで、リニューアルに伴う支出があったことは伺いましたが飲食部門のマイナスが目立っています。現在は、コロナウイルスの特殊な状況ではあるかと思いますが、街の飲食店ではテイクアウトを実施するお店などもあります。あびベジさんは現状をどう捉えているのかと今後の対策についてお聞かせください。

あびベジ) コロナでお客様が外食を自粛する厳しい状況ですが、営業する以上は調理スタッフ以外にもホールスタッフが必要だったりして、人件費が一定以上はどうしてもかかってしまい、他店と同様厳しい状況ではあります。一方で、4月にリニューアルした際には、原価計算を見直し、客単価の引き上げを狙ってメニューを改変しました。今年度は、実際に客単価が100円程度上がっており、休日は売上が10万円を超えるなどお客様が戻りつつあるので、これから食数が出るようになれば黒字にできると思っております。また、来店してもらうためには、お客様に喜ばれるメニューを提供していくことが必要だと思いますので、専門家派遣等も活用しながらメニュー改善を継続して行っていきたいと思っております。

F 委員) 私も飲食のことが気になっていて、気になることをE委員に聞いていただき事情を聴いて分かりました。今このような状況で外食を控える傾向があるので仕方がない面もあると思っております。E委員から聞いていただいたので私からは質問はありません。

B 委員) 10月以降の売上の推移をあびベジはどう捉えているのか、また2月、3月のコロナの影響はどうだったのか、2点教えて下さい。飲食業は厳しくなる一方で自宅消費は伸びているというのが世間では一般的だと思いますが、いかがだったのでしょうか。

あびベジ) 例年ですと1月2月は赤字でしたが今年はコロナの影響で黒字になっています。客数としても1.1倍~1.2倍になっています。

B 委員) 10月の消費税の増税の影響はどうでしたか。

あびベジ) 食品については8%のままですので、影響はありませんでした。

B 委員) 米舞亭はどうですか。

あびベジ) 昨年9月に消費税の増税を見越して価格変更をしており、増税による収支への影響は特に出していません。

B 委員) クレジット対応していると思いますが、キャッシュレス還元等はどうでしたか。

あびベジ) お客様は還元に関心が高く利用されていました。一部、国の対応が遅れたものもあって若干の混乱はありましたが、PayPay、iD、交通系などに対応できるようキャッシュレス化を進めてきました。6月にキャッシュレス還元が終了しましたが、以降も継続的にご利用いただいている状況です。

B 委員) 続いて収支面を伺いたいと思っております。30年度から仕入商品を吟味し、利益率の向上に繋げたとのことでこれは大変評価したいと思っておりますが、決算月の特別損

失 2,972 千円の内容は何でしょうか。

あびベジ) 正職員に契約解除で辞めていただいたときの退職金等です。

B 委員) あと減価償却費で決算月に 1,326 千円が計上されていますがこれは何ですか。

あびベジ) これは開業経費を 5 年で償却しているものです。以前から毎月に取り替えるようご指摘はいただいていたのですが、会計士さんともお話しして管理の都合上このような形になっています。

B 委員) 開業償却は任意で、利益が出なければそのまま置いておいていいという建前がありますが、利益が出たから償却しようということですか。

あびベジ) そうではなくて、約 130 万をこれまでも毎年計上しています。

B 委員) というのは、定期的に収支を見ているなかで、決算の分が計上されていないと見た目は利益が出ているように映ります。これは決算とは関係なく分かるように計上してもらいたいと思います。

あびベジ) わかりました。報告するときにはその分を計上して提示するようにしたいと思います。

B 委員) 他にありますか。

D 委員) 質問ではないんですけども、米舞亭さんがオープン頃から比べるとメニューに美味しそうなものが増えたと思います。委託販売についても、伊勢屋さんとかハリオンさん、笑福さんとか品数が増えて、売れ行きも良さそうに見えています。皆さんの努力が実って、とても良いお店になっていっていると思います。

あびベジ) ありがとうございます。お客様が増えると農家さんも多く出荷してくれる、するとまたお客様が増えるという好循環が働いてきています。これを継続していきたいと思っております。

A 委員) 朝日新聞に川村学園女子大学と連携した惣菜の件が大きく取り上げられていました。こういった情報は、消費者にとっても良い印象を与え、購買意欲を高めると思います。こういった取り組みは今後も大事にしていきたいと思えます。

B 委員) 質問は他にありませんでしょうか。それではヒアリングを終了させていただきます。あびベジの皆さんありがとうございました。

(あびベジ退室)

B 委員) それでは各委員から寸評をいただきたいと思えます。

E 委員) 収支が改善してきて、その要因は支出を減らしたということで、収入が多少減少しても、それ以上に支出を減らすことができたということだと思います。一方で、先ほどあびベジさんが仰っていましたが、飲食部門はどうしてもホールと調理にスタッフが必要で、マイナスが目立ってしまっているのかなと思えます。

まずは支出を減らせたことはとても良かったと思いますので、飲食部門はコロナ禍で影響を受けるのは仕方ない面があると思いますが、さらに高いレベルを目指して、収入を増やしていき、農業拠点施設としての役割を安定的に果たしていただけるような組織になっていただきたいと思います。

F 委員) 事前に配付された資料を見ても、計画に従って日々改善・実践に取り組んでおられるんだなと感じました。一消費者としても、いろいろ見て考えていきたいと思います。

D 委員) 先ほども申し上げましたが、皆さんの努力が実ってまずは黒字になって良かったと思います。印象としては売上がもっと伸びてもよさそうだなと思ったりもしていて、我孫子の野菜を多くの人に届けることが主な役割だと思いたいですので、さらに売上が伸びるような工夫をお願いしたいと思います。

A 委員) 一部苦言を申し上げましたが、改善できれば一層農業拠点施設としての魅力が高まっていくのではないかと思います。全体的には評価の視点を満たしていると捉えています。あえて言えば飲食部門、どこもコロナ禍で厳しい状況になっていますが、メディアではいろいろな戦略を立てた事例が紹介されています。新たな戦略を立てていく必要、例えば人口が比較的多い我孫子駅周辺の新住民を顧客に取り込んでいくなど、新たな取り組みが必要なのかもしれません。

C 委員) ここまで皆さん仰っているとおり、黒字になったことが昨年度の最も大きな1歩だったのかなと思います。経営が安定することで、これまで頑張っても収支にはなかなか結び付かなかった食育などの部分をさらに大きく伸ばしていけたら、農業拠点としての役割をさらに担っていけるのかなと思います。また、そのようになることを期待しています。コロナが起きた今がある意味では始まりとも言えるかもしれないので、これまでもいろいろな課題を乗り越えてきたように、これからの事業展開を楽しみにしています。

B 委員) 先ほど D 委員が言われたとおり、我孫子市産の農産物の地産地消を進めて、直売所の売上を上げるのが大前提だと思います。今年度の4月から6月まではかなり良い調子だと思いますので、今後も継続できるよう努めていただきたいと思います。あと質問ですが、米舞亭はテイクアウトはやっていないのでしょうか。

事務局) 衛生管理上の問題でメニューの一部にはなりますがテイクアウトを始めています。ソーシャルディスタンスでテーブルを間引いており、客席が減って売上が減少している面もありますが、テイクアウトして親水広場で食べられている方も見かけます。あとあびチケの対象店にもなっています。

B 委員) 外のテラスの使用状況は。

事務局) 使われています。テラス席のほうが人気が高く、先に席が埋まっていまい、仕方なく店内で食べるというお客様もいるようです。ソーシャルディスタンスをとっており、窓も開けて換気もしていますが、やはり気にされる方は多いと思

います。

B 委員) 4月から6月までの収支はコロナの影響があつてのものとなると、仮にコロナ禍が落ちついたときにどうなるのかという心配はあります。

事務局) 現在野菜の価格が高騰しており、そういった意味では今後も直売所の注目は高い状態が当面は続くと思います。直売所は、スーパーのように一気に価格を上げないので、売上も一気に伸びるということはありませんが、顧客満足度は上がっていくのかなと思います。

B 委員) 先ほど A 委員からトウモロコシの件がありましたが、今後どうやって対策していくのか。農家さんに任せていてそういう結果になったわけですから。農家さんに対する指導も必要かもしれませんね。

事務局) 消費者があつての直売所なので怠つてはいけないところだと思います。スタッフも配架台を回って検品するなどしているのですが、中には見た目ではわからなかったり、検品前に購入されたりして、そういったことが発生してしまうことはあります。農政課からも役員に伝え、役員から現場のスタッフに朝礼等でしっかり伝達するよう話します。

A 委員) こうしたミスはせっかく築き上げた信頼を壊してしまうこともあり得るので、努力するよう伝えていただきたいと思います。

事務局) 1人の農家さんが信用を失うと、全体の信用に影響します。直売所の難しいところでもありますが、農家さん含めて努力していきたいと思います。

(事務局から評価の集計結果を発表)

B 委員) 市の評価が厳しいなと感じますがいかがですか。

事務局) 公募によらない方法で選定していることもあり、私たちが厳しい目で見ている必要があると思っています。経費を縮減し黒字化を達成したことは評価していますが、さらに高い評価はサービスを充実させて売上を伸ばしたときに与えられるのかなと思っています。

B 委員) あびこんのお客さんが増えれば農家さんの出荷量が増えて好循環に繋がるという話がありましたが、それが1番大切なのかなと思います。ウィズコロナのなかでしっかり頑張ってください、今年度は特別損失も前年度ほどは出ないはずですので期待しています。引き続き、指摘すべきところは指摘していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、次に評価方法を変更したいということで事務局から提案がありますので、事務局から説明をお願いいたします。

事務局) 本日お配りした A4 横で綴られているモニタリングの評価基準をご覧ください。この度、評価基準を見直しいたしました。主な変更点は評価を4段階から5段階に変更したことです。

これまで0～3までの4段階でしたが、評価2が事実上の標準点となっているなかで、その上が最高得点の3しかないことが評価を難しくしていたと思います。5段階にし、標準点を3にすることで、4または2を心理的に付けやすくし、評価の精度を高めることを目的とし、5段階への変更を提案いたします。評価項目については、変更していません。過去に収支状況がマイナスのなかで「農産物販売」や「飲食施設」などをどう評価すべきかが話題になりましたので今回改めて検討しましたが、取り組みと収支を項目で切り離して考えることは難しく、一方で、施設の主目的は、地元農産物の供給拡大や、加工や飲食施設では規格外品の2次利用等による所得向上ですので、収支がマイナスだから1や2ということではなく、これまでと同様に取り組み内容や全体の収支とのバランスなどと合わせて総合的にご評価いただきたいと思っています。また、項目によっては、提出されている事業報告書だけでは内容が見えにくい、評価しにくいものもあると思いますが、事業計画書に沿った項目を評価する必要があり、ヒアリングで補いながら評価していただけたらと考えております。この案について、ご審議いただきますようお願い申し上げます。

B委員) 確かに0～3でも1は付けにくいところがあった。また、逆に3を付けてもいかなと思ってもあびべジさんの自己評価が2だから3を与えにくいというのもあったので5段階はよいと思います。他の委員さんはいかがですか。

各委員) 異議なし。

B委員) それでは指定管理者選考委員会としてこの提案を承認いたします。最後に事務局から事務連絡をお願いします。

(事務局から事務連絡)

B委員) では以上をもって令和2年度第1回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会を閉会いたします。ありがとうございました。